議　事　録

平成27年11月25日定例教育委員会を北島町総合庁舎６階視聴覚室において開催した。

１　会議に出席した者

１番	久湊	薫	委　員
２番	板東	久男	委　員
３番	巻島	恵子	委　員
４番	三好	久美子	委　員
５番	辻村	邦雄	委　員
	天羽	俊夫	教育長

２　会議に出席した事務局職員

教育次長　　小西　昌幸

事務局局長　尼寺かつ美

３　会議に欠席した委員

な　し

４　本会の書記

教育次長　　小西　昌幸

５　議題

（１）国際交流事業について

６　その他

教育長　午後５時00分開会し、あいさつの後、議事録署名者を会議に諮り、次のとおり選任する。

４番　三好委員

５番　辻村委員

教育長　それでは議事に入ります。議事（１）国際交流事業について（報告）ということで、事務局から説明をいたします。

局　長　10月24日出発、11月１日帰着という日程でカナダのアールマリオット校へ町内中学生の訪問団を派遣しました。中学生は14名、団長に大田美英北島中学校長、副団長に藤田浩章教育委員会事務局局長補佐という16名と旅行会社の女性という体制でした。全員元気に戻ってきました。出発から帰着までの写真もお配りしています。11月９日に、帰国報告会を開きました。校長先生が日本との教育システムの違いなどを中心にご報告されたのですが、ここではそのメモをもとにご紹介させていただきます。アールマリオット校は、セカンダリースクールと呼ばれ、生徒数は1950人。公立学校です。日本の学年で言いますと、中学２年から高等学校３年生までの５学年に当たります。日本の学校との大きな違いは次のようなものがあげられます。①日本のような学級に生徒が所属しているのではなく、その教科を担当する先生の教室に生徒が移動して授業を受けるシステムです。先生が100人近くいるよう

ですが、プレハブの教室が校舎以外にたくさんあって驚きました。②授業が単位制度で、基本となる教科の上に先生のカウンセリングを受けながら自分で何を学ぶか決定する仕組みです。中学２年の段階から将来を見据えながら勉強するわけですから日本と随分違います。③大学入試制度がない。つまりふだんの授業や宿題の提出等で学校の先生が出す成績がそのまま大学進学の資料となるとのことでした。だから大学に進学してからもまじめに勉強するわけで、日本とは大きく違います。サレー市の近くにブリティッシュ・コロンビア大学がありますが、世界ランキングでは日本の東京大学と同程度だそうです。このたびの国際交流・異文化交流は中学生にとって貴重な体験になったと思います。この体験を楽しかった体験だけで終わらせず、日常的な交流を続けることも必要だと感じましたと報告されました。国際交流事業を続けることで、将来国際交流の一翼を担う人物が出てきてほしいと願っています。以上、ご報告を終わります。

教育長　事務局から説明がありましたが、ご質問がありましたら。

委　員　訪問団メンバーの感想として、まだ１か月ぐらい滞在したかったという人がいました。

次　長　11月９日の帰国報告会は素晴らしかったです。

局　長　14名の生徒が全員３分程度発表し、それがすべて違う角度からでしたので、感心しました。国際交流は、今年で16回目でした。引き続きこの事業をやってゆきたいと考えています。

教育長　ほかにご意見ありませんか。それでは、引き続きこの事業を行うということでよろしいですか。

一　同　異議ありません。

教育長　それではこれで、本日の定例教育委員会を終わります。ご協力ありがとうございました。

全協議終了、午後６時20分閉会を宣する。

以上会議の顛末を記載し、その相違がないことをここに署名します。

平成27年11月25日

書　　記　小西　昌幸
議事録記名　三好久美子
議事録記名　辻村　邦雄